



大富 奈緒子氏のプロフィール

大阪市出身。(有) 銚子海洋研究所 イルカウォッチングチーフガイド
イルカクジラウォッチングツアーを実施している銚子海洋研究所で働くため、15年前に銚子へ。昔からイルカ・クジラが好きだったこともあり、好きな仕事をしながら都会にはないのんびりとした生活に慣れる。年の差30才にもなる夫(銚子海洋研究所 所長)との間には現在3人の子供がいる。



ロイターマン ジョージ氏のプロフィール

アメリカウイスコンシン州出身。2020年に台湾から2人の子供とともに妻の生まれ故郷である銚子に移住。これまで日本には語学留学で1年、ワーキングホリデーで1年間住んだ経験があり、今回は3回目の日本移住になる。銚子の過ごしやすい気候と澄んだ空気、おいしくてリーズナブル、そして新鮮な食べ物にはとても満足している。また子供たちが健康で元気に過ごせていることが何よりだ。



泉本 保彦氏のプロフィール

20年以上にわたり戦略的経営コンサルティングを専門に、外資系ならびに日本系コンサルティング会社に勤務。5年間フランスのパリにおいてコンサルティング会社の経営を経て、2014年に日本とフランスを拠点に独立。コロナ前は欧州、アフリカ、北米、アジアへの出張を繰り返していたが、コロナ禍後はオンラインでの仕事が可能となったため、二拠点居住を検討。山北町のお試し移住体験を経て山間部の空き家を購入。2021年5月より二拠点居住を開始し、クライアントやビジネスパートナーを呼び込んでいる。2021年7月、法人本店を山北町に移転済み。



古川 裕子氏のプロフィール

令和3年に東京で開催されたふるさと回帰フェアでの山北町のブース相談をきっかけに同年12月の空き家見学ツアーへ参加。令和4年4月に単身移住。
普段はタクシードライバーとして松田町や山北町を主な範囲で業務をする傍ら、空き家の利活用および移住促進の活動をしている「やまきた定住協力隊」や「一般社団法人かながわ地域振興会」の一員として山北町の移住定住促進に積極的に貢献している。



本 奈代子氏のプロフィール

石川県金沢市生まれ。高校卒業後は名古屋の大学に進学。大学卒業後、東京都のシンクタンク系市場調査会社に勤務。東日本大震災を機に退職し、港区にて幼児向け算数教室を起業。「地域おこし」に携わりたいと考え、2018年埼玉県小鹿野町に移住。現在、小鹿野町役場にて、ソトモノ(大学生・移住者)と地域の橋渡し、地域間交流の促進を担っている。プライベートでは、移住2年目に男児を出産し、東京丸の内に勤務する夫とは週末婚生活を送っている。虫の鳴き声や風の音を感じながら眠りにつける里山暮らしが気に入っている。



石蔵 恵美氏のプロフィール

新潟県佐渡市生まれ。神奈川県育ち。大学院卒業後、大手自動車メーカーにて二輪技術開発・商品開発を担当。育児と仕事の両立の期間を経て、健康・育児・自分のための時間の使い方を見直していたところ、小鹿野町にて現在の古民家と出会い退職、移住。仕事と暮らしが一体となった生活を目指し、自宅を整備しながら、自然素材を用いた手仕事、珈琲豆焙煎・販売と、前職の経験を活かしたコンサルティングを行なっている。ライフスタイル変化のきっかけとなる場や、暮らしの手仕事を共有できる場づくりを目指し、自宅の蔵のカフェ開業準備中。夫、2人の子供たちと4人暮らし。